



公共施設の建替えについて考えてみよう Vol.3

今回は、「統廃合」及び「複合化」について考えていきます。

財政管財課 ☎(92) 4104

2階 ⑪番窓口

1 統廃合

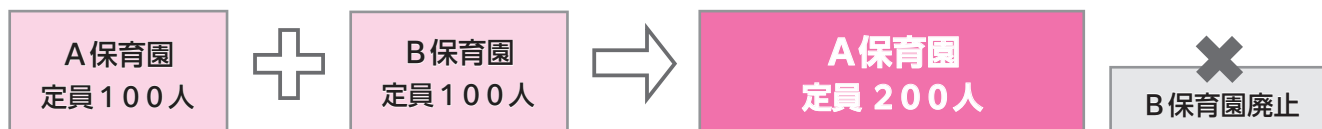
とは…

2つ以上の同じ用途の施設の一部を廃止して、合併・統合し施設をまとめること。

メリット

施設数、面積を減らし、維持管理、運営の効率化にも繋がる。

【例】 定員100人のA保育園とB保育園を統合し、定員200人にA保育園の規模を大きくし、B保育園は廃止する。



■ 統廃合の検討可能な扶桑町公共施設

＼ 着目点 /

- 人口減少に伴う検討
- 管理・運営の効率化も併せて検討
- 建替え時期に合わせた統廃合

扶桑町の公共施設の多くは、2050年（令和32年）以降に建替え時期を迎えます。

また、国立社会保障・人口問題研究所公表の将来推計人口によると、2050年には、町の人口は現在の90%程度に、0～14歳人口は80%程度になると推測されています。

これらのことを踏まえて施設毎に考えてみます。

保育園

- 定員は、ニーズ変化による影響もあり人口増減に比例しないため、現状維持を想定
- 職員配置の効率化を図り、保育の質の維持のため、各園の規模を大きくし保育園数を減らすための統廃合を検討

小学校

- 児童数減少は見込まれるが、防災拠点、地域コミュニティ拠点として地域の重要な役割を担う施設であるため、現在の場所に各小学校を残していく方向で検討

中学校

- 生徒数の減少が見込まれるため、建替え時期に合わせ、現在2校ある中学校を1校に統廃合することを検討

2 複合化

とは…

用途の違う複数の施設の機能を1つの施設に集約すること。

メリット

施設数を削減し、共用可能な部分を共用化していくことで面積を減らし、維持管理の効率化を図ることも可能。

■ 複合化の検討可能な扶桑町公共施設

ほとんどの公共施設で検討可能ですが、右記に着目して検討します。

＼ 着目点 /



- 利用者の利便性が向上する施設
- 建替え時期が近い施設
- 用途が似ている施設（用途が似ている部分を含む施設）

■ 次回は 「建替え時期の平準化と最適化」について考えていきます。

■ 今回の記事についてのご意見・ご感想は

こちらから受け付けます →



QRコード以外からも受付しますので、財政管財課 施設管理グループまでお問い合わせください。お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の参考にさせていただきます。